

文学部A方式I日程・経営学部A方式I日程・人間環境学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～23	日 本 史	24～44	世 界 史	46～60
地 理	62～70	数 学	72～77		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については、以下の注意事項を読みなさい。

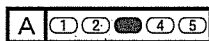
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

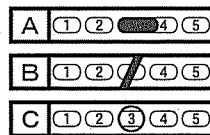
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(世界史)

〔I〕 ウィーン体制から20世紀初頭までのフランスの歴史について記された次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

ウィーン会議の結果、フランスではルイ16世の弟である が帰国し、ブルボン朝が復活した。王政復古のもと、制限選挙制による立憲君主政が採られていたが、 のあとに即位したシャルル10世は、貴族・聖職者を保護するなどの反動的な政治をおこなった。1830年7月、シャルル10世が議会を解散し、出版の自由や選挙資格を制限しようとする、パリの民衆が蜂起し、七月革命が起きた。その結果、国王は亡命し、自由主義者のオルレアン公ルイ＝フィリップが王位に就き、七月王政が成立した。

この七月王政のもとでは、銀行家などの大ブルジョワが支配的となり、産業革命が進展した。その一方で、ルイ＝フィリップはしだいに反動化していったため、厳しい制限選挙に対する共和派や労働者の不満が強まった。1848年2月、中小資本家や民衆のあいだで選挙権拡大を求める動きが起こったが、首相の が弾圧したため、パリ民衆が蜂起して市街戦となった。その結果、国王ルイ＝フィリップは退位して共和派の臨時政府が樹立され、第二共和政の成立となった。これが世に言う二月革命である。生き生きとした辛辣な筆致で風刺画を描くフランスの写実主義の画家 は、ルイ＝フィリップの顔立ちが洋梨のような形だったので、彼の顔を洋梨に仕立てて、彼の風刺画を描いている。

1848年12月におこなわれた大統領選挙では、ルイ＝ナポレオンが当選した。彼はさらに、1851年にクーデタを起こして独裁権を握り、52年の国民投票で皇帝に即位、ナポレオン3世と称した。フランス第二帝政の幕開けである。

ちなみに、同時代の哲学者・社会主義者・経済学者である は、『ルイ＝ボナパルトのブリュメール18日』において、男性普通選挙が実現した第二共和政下で、ルイ＝ナポレオンのクーデタが成功し、この独裁権力が国民投票で圧倒的な支持を受けたのはなぜか、その理由の分析を試みようとした。同書の冒頭

には、次のような有名な一節が記されている。「ヘーゲルはどこかで、すべての偉大な世界史的事実と世界史の人物はいわば二度現れる、と述べている。彼はこう付け加えるのを忘れた。一度は偉大な悲劇として、もう一度はみじめな笑劇として、と」。

また、作家 **B** は、『居酒屋』などをはじめとした、全20巻「ルーゴン＝マッカール叢書」と呼ばれる連作長編小説で、この第二帝政期の社会を描いた。

ナポレオン3世は、対内的には、共和派急進派や社会主義者を弾圧する一方、農村地主などの名望家や各地の新興ブルジョワジーの支持を得るための政策を展開した。彼は、国内産業の育成を図るべく、鉄道建設を進めたり、セーヌ県知事の **C** に命じ、衛生環境の改善や民衆騒擾の防止などを目的としてパリの都市大改造に取り組んだりした。対外的には、国民の人気を得るため、ヨーロッパではクリミア戦争やイタリア統一戦争に介入し、アジアでは、第二次アヘン戦争でイギリスとともに中国に侵攻し、さらにはインドシナも侵略した。しかし、メキシコ出兵に失敗後、1870年にはプロイセン＝フランス戦争(普仏戦争)で大敗し、第二帝政は瓦解することになった。

その後、パリではブルジョワ共和派が臨時政府を樹立し、第三共和政が成立した。しかし、**う** を首班とする臨時政府がドイツと仮講和条約を結び、アルザス・ロレーヌを失うと、この条約に憤激したパリの民衆が蜂起し、1871年3月に小ブルジョワや職人・労働者などを基盤とした革命的な自治政府である **a** を樹立した。しかし、この自治政府は、ドイツ軍の支援を受けた臨時政府により崩壊することになった。

第三共和政下のフランスは、植民地拡大政策をとり、イギリスに次いで多くの植民地を獲得した。しかし、フランスが勢力を広げた西アフリカでは、サモリ＝トゥーレがたてたイスラーム国家サモリ帝国がフランスに抵抗し、1898年まで抗争を続けた。北アフリカでは、フランスがチュニジアに進出、1881年に保護国とした。フランスはさらにモロッコにも手を伸ばし、1904年に英仏協商が結ばれた結果、英仏両国はエジプトでのイギリスの優位とモロッコでのフランスの優位を互いに認め合った。その後、フランスは1912年にモロッコを保護国とした。

フランス国内では、プロイセン＝フランス戦争(普仏戦争)で敗れた屈辱を晴ら

世界史

そうとして、ドイツへの報復感情が高まるとともに、共和政に反対する運動が起こった。 將軍を中心とする右翼勢力が、対独復讐・議会解散・憲法改正を唱えてクーデタを起こそうとした。その一方で、ユダヤ系の軍人ドレフュスがドイツに機密文書を密かに提供したとする冤罪事件(ドレフュス事件)が起きて、フランスの世論は、共和政を擁護するドレフュス支持者と、反ユダヤ主義的で共和政に批判的な反ドレフュス派に分裂した。このようななかで、作家 は「私は弾劾する」という、政府・軍部を批判する記事を書いてドレフュスを擁護した。

19世紀末になると、19世紀のヨーロッパ諸国に特徴的だった合理主義的思考方法や科学中心的な態度に対して批判的な目が向けられることになった。むしろ、世紀末文化と呼ばれる、神秘的・退廃的な性格が強い芸術や思想に取り組む動きがヨーロッパ各地で広がっていった。その背景として、帝国主義の時代には、ヨーロッパの内部では戦争が起こらず、平和であったことが挙げられる。文化・芸術活動が盛んだった、第一次世界大戦前のこの十数年間は、「ベル＝エポック」⁽⁵⁾と呼ばれており、パリはその中心地の1つであった。

20世紀に入ると、フランス政府は、 (1905年)により国家の宗教的な中立を定め、労働者の年金の制定など社会政策を推進した。また、急進社会党⁽⁶⁾や統一社会党(社会党)が結成された一方、労働者のあいだでは、議会や政党を否定し、ゼネストなど労働者の直接行動を重視する運動も盛んになった。

問1 文中の空欄 ～ に入る最も適切な人名をそれぞれ解答欄に記入せよ。

問2 文中の空欄 , に入る最も適切な名称をそれぞれ解答欄に記入せよ。

問3 文中の空欄 ～ に入る最も適切な人物名を下記の選択肢のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|--------|-----------|
| 1 ギゾー | 2 ダヴィド | 3 タレーラン |
| 4 ティエール | 5 ドーミエ | 6 ホー＝チ＝ミン |
| 7 マザラン | 8 マネ | 9 リシュリュー |

問4 空欄 は、亡命先のロンドンで書いた『資本論』において、資本主義の矛盾と没落の必然性を説き、以後の社会主義運動や国家建設に大きな影響を与えることとなった。空欄 に入る最も適切な人名を解答欄に記入せよ。

問5 下線部(1)に関連して、七月革命の影響で起こった出来事について説明した下記の文章のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 セザンヌは、七月革命を題材にして「民衆を導く自由の女神」を描いた。
- 2 コッシュートの蜂起の結果、ハンガリーはオーストリアからの独立に成功した。
- 3 ベルギー(南ネーデルラント)がオランダから独立し、立憲王政のベルギー王国となった。
- 4 プロイセンでは、シュタインとハルデンベルクらの指導により、プロイセン改革がおこなわれた。

世界史

問6 下線部(2)に関連して、ヘーゲルについて説明した下記の文章のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 実存主義の立場から、知識人として「アンガージュマン」と呼ばれる政治的・社会的参加をおこない、世界に大きな影響を与えた。
- 2 ドイツ観念論の哲学者で、弁証法哲学を提唱し、『精神現象学』や『歴史哲学』などを著した。
- 3 19世紀の自然科学の発展を背景に、人間の知識の発展を神学的段階・形而上学的段階・実証的段階に分けて、実証主義哲学を創始した。
- 4 大陸合理論の1人として、数学的合理主義に貫かれた哲学体系によって、物体も精神も神の属性のあらわれであるとして汎神論を展開した。

問7 下線部(3)および(4)に関連して、チュニジア、モロッコにアルジェリアを加えた、マグレブ(マグリブ)地方と呼ばれる地域に関連する下記の文章のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 2010年12月に、アルジェリアで反政府デモがはじまり、23年間の専制支配が崩壊した。アラブ世界では、これを皮切りに、インターネットを用いて民衆を動員した「アラブの春」が起こった。
- 2 ルイ＝フィリップは、反動的な政治に対する国民の不満をそらすため、1830年にアルジェリア出兵をおこなった。
- 3 1905年、北アフリカへの進出を狙うドイツは、皇帝ヴィルヘルム2世がフランスに抗議してアガディールに上陸、モロッコの領土保全・門戸開放を宣言したが、その目的を達成できなかった。これを第1次モロッコ事件という。
- 4 ティルス出身のフェニキア人が現在のチュニジアに建設した植民市カルタゴは、東西地中海の要地として貿易で栄えたが、紀元前2世紀半ば、ローマにより徹底的に破壊された。

問8 下線部(5)に関連して、「バル＝エポック」期の文化を説明した下記の文章のうち間違っているものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 バルセロナで現在も建築が続くサグラダ＝ファミリアは、建築家ガウディの作品であり、独創的で装飾性に満ちている。
- 2 文学では、詩人ボードレールを先駆とし、マラルメやヴェルレーヌらにより展開した象徴主義、ならびに作家ワイルドなどに代表される耽美主義が台頭した。
- 3 思想家としては、超人を賛美し、権力への意志を生の原理とするジョン＝ステュアート＝ミルや、深層心理に着目する独自の精神分析をあみだしたフロイトがいる。
- 4 美術では、ウィーン分離派のクリムトや「叫び」で有名なムンクなどの画家が現れた。

問9 下線部(6)に関連して、これらの政党に属した政治家、および第二次世界大戦後に成立したフランス社会党の政治家について述べた下記の文章のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 ドレフュス事件で被告擁護に活躍したジャン＝ジョレスは、統一社会党の指導者として、帝国主義・植民地主義に反対して反戦を訴えたが、1914年7月に右翼国粋主義者に暗殺された。
- 2 急進社会党の政治家ブリアンは、第一次世界大戦後、独仏協調を推進し、首相兼外相として、ドイツのシュトレゼマン外相とリスボン条約を締結した。
- 3 ファシズム勢力の台頭に対抗するために、フランスでは、1935年7月に共産党・社会党・急進社会党が人民戦線内閣を結成した。翌年の選挙の結果、社会党のクレマンソーを首相とする人民戦線政府が成立した。
- 4 ドイツのコール首相と、社会党出身のフランスの大統領ベタンが中心となり、1986年にE Cの市場統合を目指す単一欧州議定書が発表された。

世界史

〔Ⅱ〕 ある歴史上の人物について述べた次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

この人物は1881年、浙江省紹興の裕福な家庭に生まれたが、のちに家が没落。南京の学校で学ぶ中、進化論をはじめとする西洋の新しい思想潮流に触れる。1902年、⁽¹⁾国費留学生として日本へ留学。まずは東京で日本語を学びながら、西洋の文学や思想への関心を持ち続け、⁽²⁾1904年からは仙台の医学専門学校で医学を専攻した。そこで出会った解剖学の藤野厳九郎教授の指導は、のちに「藤野先生」という感謝の一文を草したほど懇切なものだったが、仙台には1年半ほどしか滞在しなかった。というのは、同校では授業の残り時間で、幻灯(スライド)を使って時事的なニュースを見せることがあった。ちょうど彼の仙台留学時代に起きたある国際的な事件が取り上げられた際、そこに映し出された同国人の姿を見て、⁽³⁾医学で肉体を治すより国民の精神そのものを改造するほうが急務だと感じ、文学の道に転身したからである。

仙台を去って再び東京に戻り、西洋文学の翻訳などをしたが、とりわけ大国に⁽⁴⁾挟まれた東欧の小さな国々にも関心を寄せた。1909年に帰国した後は、地元や北京で教育関係の仕事に従事していたが、長年続いた清朝政府が打倒され、さらにはその革命の成果が骨抜きにされるなど、時代はまさに激動の時を迎えていた。その中で創刊された雑誌『 a 』に「狂人日記」を発表、儒教に代表される中国の伝統社会のあり方にメスを入れて注目された。その文体も、 b といわれる口語体で書かれていて、新しい時代を予感させた。

1920年代に入ると、北京大学などで教鞭を執りながら、小説・評論を次々に発表したが、⁽⁵⁾とくに雑文や雑感と呼ばれたエッセイ風の文章では、時事的な事柄について⁽⁶⁾論争提起の内容が多く盛り込まれた。その筆鋒の鋭さからときの国民党政府からにらまれ、身を隠さねばならない時もあった。多くの筆名を使い分けたのも、そのためである。広州での生活を経て1927年から、中国で当時もっとも国際的な都市であった上海で暮らす⁽⁷⁾が、そこは直前に反共クーデタが起きた場所でもあり、国民党政府の監視の目も厳しかった。しかし、上海には、日本人の内山完造が経営する内山書店があり、日本留学により日本語ができる彼は、そこを通じて世界のさまざまな情報に接してもいた。彼により、日本語からの重訳で中国に

紹介された外国の書物も少なくない。この時期、中国に対する日本の侵略は加速化していくが、彼にとって日本とは、侵略により自国を苦しめる元凶であると同時に、⁽⁸⁾その窓を通じて世界の思想や文学を知らしめてくれる、得がたい存在でもあったと言えよう。

革新陣営内部のセクト的な傾向への批判も含め、多くの文学論争などで論陣を張った彼も1936年、上海にて死去。その葬儀委員には、蔡元培、cの夫人である宋慶齡、毛沢東、作家の茅盾らの同国人のほか、先の内山完造や、中国の新しい息吹を世界に伝えたアグネス・スメドレーなどの外国人も名を連ねていた。実際、日本では、すでに戦前に全集や評伝が出版され、現在も中学校の国語教科書に作品が載るなど、中国近代文学を代表するこの人物に対して根強い人気と関心がある。日中の文化交流を考える際に、⁽⁹⁾欠かすことのできない大事な人物と言えよう。⁽¹⁰⁾

問1 文中の a ~ c に入るにふさわしいものを次の選択肢から選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|----------|---------|---------|--------|
| 1 王明 | 2 改造 | 3 解放 | 4 黄興 |
| 5 朱徳 | 6 蔣介石 | 7 四六駢儷体 | 8 新青年 |
| 9 孫文 | 10 東方雑誌 | 11 白話 | 12 普通話 |
| 13 民主と科学 | | | |

問2 下線部(1)の進化論に関する説明として間違っているものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 この学説は、イギリスの博物学者ダーウィンによって唱えられた。
- 2 生物は原始的なものから、自然淘汰と適者生存によって進化してきたと主張した。
- 3 最初の提唱者自身、人間社会も原始共産制から現在の資本主義社会を経て社会主義に至ると断言した。
- 4 神を造物主と考える当時の考え方に反するため、キリスト教界の強い反発を招いた。

世界史

問3 下線部(2)に関連して、この人物の日本留学時代の日中関係に関する説明として正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 この時期の直前に両国は戦火を交えているので、表立った交流はみられなかった。
- 2 当時、留学先といえば欧米諸国であり、この人物のように日本へ留学に来る例は稀だった。
- 3 中国同盟会が東京で結成され、機関紙『民報』が刊行された。
- 4 韓国併合により、日本と中国が朝鮮北部で国境を接するに至った。

問4 下線部(3)の「ある国際的な事件」とは、次のうちどれか。もっともふさわしいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 義和団事件
- 2 日露戦争
- 3 日清戦争
- 4 ハーグ密使事件

問5 下線部(4)に関連して、以下の三つの語句から連想される東欧の国はどこか。その国名を解答欄に書きなさい。

領土分割、シヨパン、アウシュヴィッツ

問6 下線部(5)の北京大学に関する説明として間違っているものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 1910年代後半に学長を務めた蔡元培が、気鋭の学者たちを多く招聘した。
- 2 胡適、陳独秀、李大釗らも教官として名を連ねていた。
- 3 新文化運動や五・四運動において主導的な役割を果たした。
- 4 毛沢東や周恩来はじめ、中国革命の指導者の多くが学生としてここで学んだ。

問7 下線部(6)に関連して、生没年から判断して、この人物が雑文をはじめとする自らの文章で言及したはずのない人物および事項を一つずつ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

a 人物

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 サイード | 2 チェーホフ |
| 3 トルストイ | 4 バーナード＝ショー |
| 5 ロマン＝ロラン | |

b 事項

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 キュビズム | 2 コミンテルン |
| 3 宋教仁暗殺 | 4 ピカソの「ゲルニカ」 |
| 5 リットン調査団報告書 | |

問8 下線部(7)の上海に関する説明として間違っているものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 当地にある在華紡でストが発生し、全国的な五・三〇運動へと発展した。
- 2 イギリスやフランスをはじめ、各列強の租界があった。
- 3 李承晩を初代首班とする大韓民国臨時政府が樹立された。
- 4 汪兆銘を主席とする日本の傀儡政権がのちに置かれた。

問9 下線部(8)に関連して、この人物は以下のa～cの著書の日本語版を購入している。これらの著書の作者を次の選択肢からそれぞれ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|--------------|-------------|------------|
| a 『罪と罰』 | b 『ドン＝キホーテ』 | c 『ルバイヤート』 |
| 1 イブン＝ハルドゥーン | 2 ウマル＝ハイヤーム | |
| 3 エンゲルス | 4 ガザーリー | |
| 5 ジイド | 6 スタンダール | |
| 7 セルバンテス | 8 ドストエフスキー | |
| 9 バルザック | 10 モーパッサン | |

世界史

問10 下線部(9)の毛沢東に関する説明として間違っているものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 長征後、延安を根拠地に抗日運動を続けた。
- 2 中国を代表して、スターリンとともにポツダム会談に参加した。
- 3 1966年、プロレタリア文化大革命を発動した。
- 4 死後、それまで権力の中枢にあった四人組が逮捕された。

問11 下線部(10)の日中の文化交流に関する説明として間違っているものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 遣隋使や遣唐使は、中国文化の日本への導入に大きな役割を果たした。
- 2 日宋貿易は、陶磁器や禅宗を日本にもたらすなどの文化的影響があった。
- 3 江戸時代は鎖国のため、清との外交関係や文化交流は途絶えた。
- 4 近年の日中文化交流再開の契機となった日中国交正常化は、1972年である。

問12 問題文で「この人物」ないし「彼」と書かれている人物が誰かを判断し、その姓名(代表的な筆名または本名)を漢字で書きなさい。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

大西洋を西へ向かえばやがてインドに到達するはずだという説を信じた男が、15世紀の末に、スペイン西南部に位置する港 を出港した。この男は、通説ではジェノヴァ生まれといわれている。 を占領したばかりのスペインの女王がこの航海の後援者となった。西インド諸島に到達した第1回目の航海の報告を受けて、スペイン出身の教皇アレクサンデル6世は教皇子午線を設定したが、その後スペインとポルトガルは協議の末、1494年にこの教皇子午線を修正する条約を締結した。その条約締結時にポルトガル王であった の命によって大西洋を南下しながら東への航路を探った は、条約締結以前にすでに に到達していた。

西インド諸島に到達した船隊は、地球は球体であるという説を唱えた、フィレンツェの天文・地理学者 の影響を受けて、大西洋を西に向かったといわれている。しかし彼らがインドだと信じた地は、当時のヨーロッパ人にとっては未知の大陸であった。西インド諸島と呼ばれることになった地がインドではないことを明らかにしたのは、フィレンツェ人で、メディチ家の銀行に勤めたこともあるとされる であった。この未知の大陸は、現在 の名にちなんだ名称を与えられている。

の設計による大天蓋を冠せられたサンタ=マリア大聖堂を擁する、アルノ河畔の都市フィレンツェは、大富豪メディチ家の支配の下に繁栄を極めた。メディチ家の は、アカデミー(アカデミア・プラトニカ)を開設して古代ギリシア研究を奨励したことでも知られる。フィレンツェでは、すでに14世紀に、『デカメロン』の作者として知られる がギリシア古典の研究をスタートさせていたが、 の古代ギリシア研究への関心には、地中海世界の東方にあって、長らくイスラム勢力と対峙してきた帝国の滅亡に伴って、ギリシア語を話す知識人たちが流入したことの影響も大きかったのかもしれない。

メディチ家の庇護を受けた の手になる『春』、『ヴィーナスの誕生』などの作品からは、メディチ家の庇護を受けた、当時の文人たちの語り合いに触発された様子^aがうかがわれることが指摘されている。こうした文人たちの拠点とな

世界史

っていたのは、によって開設され、の孫でイル・マニフィコと呼ばれた人物の保護の下にあったアカデミーであった。1494年からのフランス王の侵攻によってメディチ家が追放されて、が一時フィレンツェを支配することになると、の画風も変わっていったが、それでもはフィレンツェを去ることはなかった。

と共にベロッキオの工房で学んだは、しばしばこの時期の人に用いられる、いわゆる「万能の人」という呼び方にいかにもふさわしい人であった。30歳の頃にミラノへ移っていたは、15世紀末から16世紀初頭にかけて行われた、フランス王ルイ12世によるミラノ侵攻を機に一時フィレンツェへもどったものの、結局のところフランス王に招かれてフランスへ移り、アンボワーズ城に近いクルーの館でその生涯を終えた。は、「フランス＝ルネサンスの父」と呼ばれている。

教皇ユリウス2世は1506年に、建築家の案を採用してサン＝ピエトロ大聖堂の再建に着手した。の死後は、「アテネの学堂」などで知られ、この時代を代表する画家の一人であるが後継者となったが、1520年にはそのも没し、教会財政の逼迫やカール5世の軍隊によるローマの略奪などの影響もあって、工事は停滞した。16世紀半ばには一時、晩年のが再建に携わっている。は、長らくユリウス2世の霊廟建設に携わって、モーセ像を制作したことで知られている。のちに教皇レオ10世は、サン＝ピエトロ大聖堂建築のために贖宥状の販売を許可した。この販売にかかわった南ドイツの豪商はそののち、神聖ローマ皇帝の位をめぐってと選挙で争ったカール5世に資金援助をしたとも言われる。カール5世ととは、イタリア支配をめぐっても激しく対立した。この争いは、1494年からのフランス王の侵攻以来数次にわたって行われた、いわゆるイタリア戦争のひとこまとなった。

問1 空欄～に最もよく当てはまる人名を解答欄に記せ。

問2 下記の説明文が、あの人物の説明として正しければ解答欄の1を、いの説明として正しければ2を、うの説明として正しければ3を、いずれの説明としても誤りであれば4をマークせよ。

1483年に生まれ、早熟な天才として名声に包まれたこの芸術家は40歳になる前に世を去った。システイナ礼拝堂に残された「最後の審判」をはじめとする見事な壁画は、この芸術家の力量を余すところなく示している。彼はまた、膨大な素描、手稿なども残しており、その内容は解剖図から飛行のための装置に至るまで多岐にわたっている。

問3 メディチ家について、下記の説明文のうち間違っているものを一つ選んで、^aその番号を解答欄にマークせよ。

- 1 教皇レオ10世は、メディチ家出身の教皇であった。
- 2 メディチ家は、金融業で財を成し、文芸の保護に力を尽くした。
- 3 フランス王アンリ2世に嫁いだカトリーヌは、メディチ家出身であった。
- 4 メディチ家は、元来ロンバルディアを領土とする公爵家であった。

問4 カール5世について、下記の説明文のうち正しい文の個数を解答欄にマ^bークせよ。

- ① レパントの海戦に勝利したのち、ポルトガルを併合して、巨大な植民地帝国を築いた。
- ② 代表的ゴシック建築の大聖堂を擁するヴォルムスにドイツ諸侯を召集して、帝国議会を開いた。
- ③ 1519年に、ハプスブルク家出身者としては初めて、スペイン王となった。

世界史

問5 イタリア戦争について、下記の説明文のうち正しいものを一つ選んでその番号を解答欄にマークせよ。

- 1 フランスは、カトリックの国であったが、一時ヘンリ8世と手を結んで神聖ローマ皇帝と戦った。
- 2 神聖ローマ皇帝は、一時スレイマン1世と手を結んでフランスに対して優位に立った。
- 3 この戦争は、1559年にフランス王、スペイン王、イギリス女王との間に結ばれた条約によって、ようやく終結を見た。
- 4 15世紀末から断続的に続いたこの戦いは、ハプスブルク家とブルボン家との争いとして知られ、その終結は外交革命とよばれている。

問6 空欄 ～ に最もよく当てはまる語を下の語群のなかから選びその番号を解答欄にマークせよ。

語群

- | | | |
|------------|----------------|-------------|
| 1 アンリ4世 | 2 ヴェルデ岬 | 3 エラスムス |
| 4 エンリケ航海王子 | 5 カデイス | 6 カブラル |
| 7 喜望峰 | 8 グラナダ | 9 コジモ |
| 10 サヴォナローラ | 11 サラゴサ | 12 サンサルバドル |
| 13 シャルル8世 | 14 ジョアン2世 | 15 セウタ |
| 16 バルセロナ | 17 バルトロメウ=ディアス | |
| 18 バルボア | 19 パロス | 20 フェルナンド5世 |
| 21 フランソワ1世 | 22 ペトラルカ | 23 ボッカチオ |
| 24 マラケシュ | 25 ロレンツォ | |